絵画工房たゆたう展 Vol3 を開催しました！

絵画工房たゆたうは、2015年8月のスタートから3年が過ぎました。現在では、39名の方々が月に1回のペースで通って、思い思いの制作に取り組んでいます。

7月2日～ 13日まで王子駅のガード下にある、王子カルチャーロードギャラリーにて「絵画工房たゆたう展Vol3」を開催しました。2017年度に、たゆたうに通ってこられていた方々の作品を1点ずつ展示しました。

ご覧になった方々からは、「いろいろな画材を使用されていて驚いた」や「合評会の時の写真の展示もよかった」などの感想をいただきました。

「絵画工房たゆたう展」は今後も年に1度開催していきたいと思っています。

今後の主な予定

シンポジウムのご案内

2019年2月24日（日）にシンポジウムを開催します。今回は「グループホームにおける医療的ケアの対応について」がテーマです。会場は岸町ふれあい館を予定しています。ご興味のある方はぜひご参加ください。詳細は別途チラシをご覧ください。

入会のご案内とご寄付のお願い

ピアネット北では、一緒に活動をしてくださる正会員、活動の趣旨に賛同して資金面の援助をしてくださる賛助会員の方を募集しています。入会ご希望の方は、右記口座にお振込みいただくかピアネット北事務局までお問い合わせ下さい。

正会員 年会費 10,000円
賛助会員 3口より（1口1,000円）

■ 振り込み先
郵便口座：
00100-5-296049
口座名称：
特定非営利活動法人 ピアネット北

■ お問い合わせ
TEL＆FAX：03-3905-7226

ピアネット北通信

peernet

2018（平成30）年11月発行 第28号

洲崎福祉財団様、東京馬主協会様より助成金を頂きました！

公益財団法人洲崎福祉財団様より重度身体障害者グループホーム「やじろべえ」の外壁工事の費用を助成していただきました。

一般社団法人東京馬主協会様からは、同じく「やじろべえ」のリビングで使用している業務用のエアコンの購入・設置費用を助成していただきました。

「やじろべえ」は開所してから13年目を迎えます。外壁工事は一般的には約10年に1回程度、下地材を塗り替える必要があるとされています。今回の助成金のおかげで、外壁を塗り替え健全化することができ、入居者の居住環境を適切に保つことができるようになりました。

また、開所当時からリビングで使用していたエアコンも経年劣化が進み、この夏の猛暑の間に壊れてしまうのではないかとも心配していましたが、助成金をいただいたおかげで新しいエアコンを設置でき、入居者の皆様が日々快適に過ごせるようになりました。

助成金をいただきました公益財団法人洲崎福祉財団様、一般社団法人東京馬主協会様、ありがとうございました！

事務局
〒114-0003 北区豊島5-5-5-612
TEL&FAX：03-3913-9308

療育相談事業 あこの会
〒114-0032 北区中十条1-4-7インクリースビル6階
TEL&FAX：03-3900-6848

北区障害者地域自立生活支援室
〒114-0032 北区中十条1-2-18
TEL&FAX：03-3905-7226

重度身体障害者グループホーム やじろべえ
〒115-0052 北区赤羽北1-7-23
TEL&FAX：03-6657-9077

URL：http://www.peernet.or.jp/　**E-mail：peernet@peernet.or.jp**

○ 外出イベントの様子を紹介します

あこの会には、幼児から高校3年生までの知的障害や発達障害の子どもたちが通ってきています。ふだんの療育は、生活（身辺自立）、運動、認知学習、作業の4本立てで行っています。年に数回、ふだんの療育プログラムとは違い、『外出イベント』という子どもたちと保護者といっしょに買い物や外食に出かけるプログラムの日があります。今回は、みんなが楽しみにしている『外出イベント』をご紹介したいと思います。

『外出イベント』は、電車やレストラン、スーパーなどでのスキルやマナーをチェックし、できないことを教えていく療育プログラムです。自分なりに考えて行動すること、周りの人に配慮することが大きなポイントです。親に頼らずにできることがひとつでも増えると、子どもたちは自信をもちます。

また『外出イベント』は、保護者が学ぶ場でもあります。家の外での子どもの様子を見て、家庭での取り組みのきっかけにしてほしいと考えています。

ある日の子どもたちの様子を紹介します。

■電車

小学3年生のAくんは、電車に乗ることが好きですが、まだ券売機の使い方に慣れていません。緊張した表情でメモを見て、「… 160円、…子ども」とつぶやきながらボタンを押し、切符を目的地まで買うことができました。前回は、おつりを落としてしまいましたが、今回は家庭での取り組みの成果もあって、落とさずにしまえました。

自分の荷物の扱いというのも慣れていないと難しいものです。小学2年生のBちゃんは手に持ってたカバンや傘をすぐに大人に渡そうとしました。自分で持つように伝えると、今度は財布を出すときに下に置いてしまいました。自分の荷物をひとりで持ち替えるように繰り返し教えると、置かずに扱えるようになりました。

■買い物

お母さんやお父さんから頼まれた品物を子どもが探し、支払い、袋詰めまでします。子どもたちはスーパーで品物を探すのが楽しみなようです。小学1年生のCちゃんは、お母さんから頼まれたトマトと食パンを探していますが、あれこれ見ているうちに何を探していたのか忘れてしまいました。もう一度、お母さんからもらったイラストのメモを見せながら探させたところ、今度は無事に見つけることができました。

小学6年生のDくんは、お手伝いで買い物をよくやっています。今回は焼きそばの材料を考え、予算内で買うことがお母さんからの課題です。計算機を片手に値段を確認しながら、カゴに入れていきます。レジでも早めに財布を用意することができ、スムーズに支払いを終えることができました。

中高生のグループになると、子どもたちに外出イベントのスケジュールや予算を立てさせることも課題になります。みんなで入りたい店を話し合うのも大きな楽しみなようです。友達と協力することも『外出イベント』の大切な課題です。

緊張しながらも、できたときは、みんなとっても嬉しそうな笑顔になります。子どもたちが少しでも自分の力を高めて、将来発揮できるようにていねいに教えていきたいと考えています。

○ 伊豆に行ってきました

9月29日（土）～ 30日（日）に伊豆へ、バリアフリー旅行へ行ってきました。大型の台風が接近している状況ではありましたが、お天気が回復することを願いつつ出発しました。

渋滞もなく1時間で海老名サービスエリアに到着。多機能トイレのほかに、一般トイレの中にも多機能トイレがあり、車いす利用者もトイレ渋滞なくゆっくり休憩することができました。

海老名から1時間半で「道の駅伊東マリンタウン」に到着。海鮮丼、ラーメン、そば等々、各自好きなお店に入り昼食をすませ、デザートにプリンやソフトクリームを食べている人もいました。天気が良ければ、～幸せの風吹く～伊東マリンロードの散策、遊覧船を楽しむことができたのですが少し残念でした。

再びバスに乗って宿のある伊豆高原へ。貸し切り風呂予約時間の関係で、車イス利用者と介助者は下車し、他の人たちは城ヶ崎海岸へ行きました。城ヶ崎海岸は、大室山が約4,000年前に噴火したとき溶岩が海に流れ出し、海の侵食作用で削られてできた、約9kmにわたる雄大な出入りの激しい溶岩岩石海岸です。そこの名所として長さ48m、高さ23mのつり橋があり、断崖絶壁のスリルを味わうことができます。つり橋を怖がる人もいましたが、無事渡りきれました。

宿では、夕食の時間まで、お茶を飲んだり、お風呂に入ったり、おみやげを探したりと、おもいおもいの時間を過ごしました。「満天の湯」と「月光の湯」、2種類の大浴場があり、目の前に広がる伊豆諸島を見渡すことができたのですが、雨空だったのが少し残念でした。貸し切り風呂は更衣室が広く天井走行リフトも設置されていて、車いす利用者にはとてもありがたい施設でした。夕飯は、お酒、ジュース、お茶と、それぞれ好きな飲み物で乾杯！食後は恒例のカラオケで盛り上がりました。ソロで歌ったりデュエットをしたり、踊りをつけて歌ったり、大人数でのカラオケは、笑いが絶えませんでした。その後、就寝までの間はひと部屋に集まり、2次会で盛り上がりました。

朝は、お楽しみのバイキングでスタート。種類も多く、炊き立てのご飯と温かい味噌汁に焼きたてのアジの開きは絶品でした。

2日目は予定を変更して熱海へ。日差しが暑いくらいの陽気の中、設置されているスロープで浜辺まで、潮風を感じながら散策しました。熱海を出発すると雨が降り出し最後の休憩地、海老名サービスエリアにつく頃には本降りになっていました。しかし、日頃のおこないがいいからか、傘をさすことがほとんどなく旅行を終えることができました。

ご参加頂いたみなさま、ありがとうございました!!